

株式会社 堀場製作所

2017年12月期 第1四半期決算 電話説明会資料

常務執行役員 財務本部長

橘川 温

2017年5月12日

説明内容

1. 2017年12月期 第1四半期実績
2. 2017年12月期 上期・通期業績予想
3. 為替の売上高・営業利益への影響
4. 営業利益分析
5. 受注の状況
(ご参考)

設備投資・減価償却費・研究開発費

< 免責事項 >

本プレゼンテーション資料には、株式会社堀場製作所の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。また経済動向、他社との競争状況、為替レートなどの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

1-1. 2017年12月期 第1四半期実績

(単位:億円)

2016年比で増収増益。過去最高水準の業績を達成。

	2016年 1Q実績	2017年 1Q実績	対前期増減	
			金額	率
売上高	412	456	+43	+10.7%
営業利益	51	61	+10	+19.6%
営業利益率	12.5%	13.5%	+1.0p	
経常利益	51	60	+9	+18.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	31	37	+5	+18.8%
為替 レート	US\$	115.35	113.60	▲ 1.75
	Euro	127.15	121.05	▲ 6.10

1-2. 2017年12月期 第1四半期実績 [セグメント別]

(単位:億円)

- 自動車 ……排ガスビジネスが好調。MCTビジネスは収益改善。
- 環境・プロセス ……プロセス計測事業の販売減。アジア向けビジネスで低収益案件あり。
- 医用 ……欧州での販売減。
- 半導体 ……半導体製造メーカーの高水準な投資を背景に販売増。
- 科学 ……日本、米州での研究開発用分析装置の販売が低調。

	売上高				営業利益			
	2016年 1Q実績	2017年 1Q実績	対前期増減		2016年 1Q実績	2017年 1Q実績	対前期増減	
			金額	率			金額	率
自動車	149	173	+23	+15%	11	21	+9	+87%
環境・プロセス	41	41	+0	+0%	6	1	▲4	▲73%
医用	69	60	▲8	▲12%	8	4	▲3	▲43%
半導体	86	122	+35	+41%	23	34	+11	+50%
科学	65	58	▲6	▲10%	2	▲0	▲2	-
合計	412	456	+43	+10%	51	61	+10	+19%

2-1. 2017年12月期 上期・通期業績予想

(単位:億円)

為替の前提は変更なし。
 上期、通期の売上高・利益予想を上方修正。
 配当は変更なし。

	2017年上期			2017年通期			
	前回予想 (2/14時点)	今回予想 (5/12時点)	差額	前回予想 (2/14時点)	今回予想 (5/12時点)	差額	
売上高	840	875	+35	1,770	1,830	+60	
営業利益	90	100	+10	200	210	+10	
営業利益率	10.7%	11.4%	+0.7p	11.3%	11.5%	+0.2p	
経常利益	87	97	+10	193	203	+10	
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	55	61	+6	130	136	+6	
為替 レート	US\$	110.00	110.00	-	110.00	110.00	-
	Euro	120.00	120.00	-	120.00	120.00	-

2-2. 2017年12月期 上期・通期業績予想 [セグメント別]

(単位:億円)

- 自動車 ……排ガスビジネス好調も、ECTビジネス投資コスト発生
- 環境・プロセス…海外での収益率低下
- 医用 ……変更なし
- 半導体 ……高水準な受注、受注残
- 科学 ……日本での販売低調

	売上高						営業利益					
	2017年上期			2017年通期			2017年上期			2017年通期		
	前回予想 (2/14時点)	今回予想 (5/12時点)	差額									
自動車	300	320	+20	670	690	+20	18	22	+4	52	52	-
環境・プロセス	80	80	-	180	180	-	5	4	▲1	16	11	▲5
医用	120	120	-	250	250	-	10	10	-	22	22	-
半導体	220	240	+20	410	460	+50	55	65	+10	100	120	+20
科学	120	115	▲5	260	250	▲10	2	▲1	▲3	10	5	▲5
合計	840	875	+35	1,770	1,830	+60	90	100	+10	200	210	+10

3. 為替の売上高・営業利益への影響

為替の実績・予想

2016年1-3月平均実績

2017年1-3月平均実績

2016年1-12月平均実績

2017年1-12月通期予想

US\$:115.35円、Euro:127.15円
 US\$:113.60円、Euro:121.05円

US\$:108.78円、Euro:120.26円

US\$:110.00円、Euro:120.00円(2/14時点)

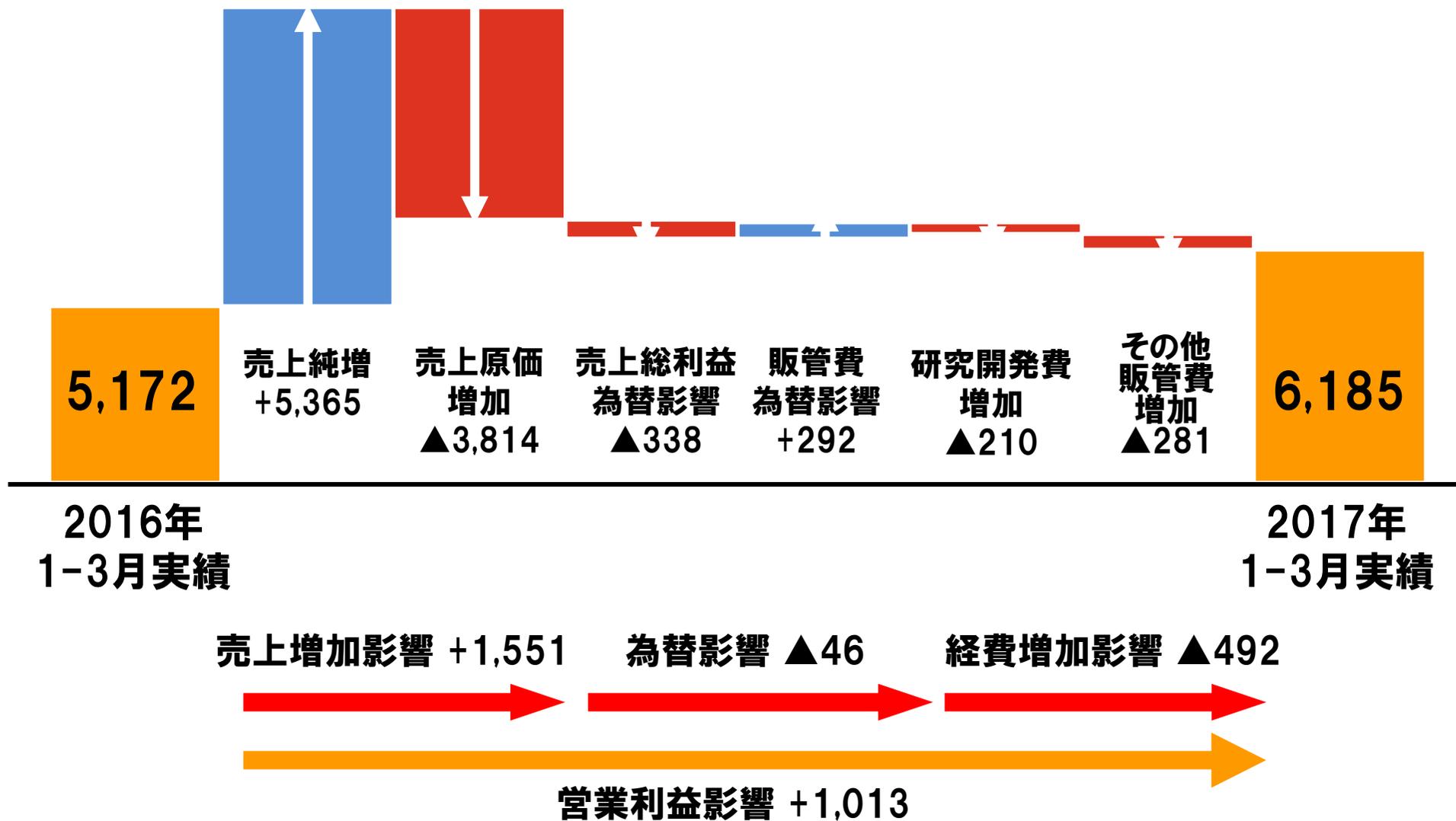
US\$:110.00円、Euro:120.00円(5/12時点)

(単位:百万円)

		2017年	1-3月実績	通期予想
1円円高による影響額	売上高	US\$	▲ 108	▲ 442
		Euro	▲ 52	▲ 335
	営業利益	US\$	▲ 42	▲ 160
		Euro	+9	▲ 23
前年同期比影響額	売上高	合計	▲ 968	▲ 193
		US\$	▲ 189	+539
		Euro	▲ 320	▲ 87
	営業利益	合計	▲ 46	+155
		US\$	▲ 73	+195
		Euro	+54	▲ 6

4. 営業利益分析(前年同期比較)

(単位:百万円)



5. 受注の状況

(単位:億円)

自動車(排ガス)、半導体で高水準の受注と受注残を記録

	受注				
	2016年				2017年
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
自動車	123	147	186	221	173
環境・プロセス	34	41	36	50	37
医用	76	64	56	66	66
半導体	95	96	104	118	↑ 144
科学	56	53	58	86	51
合計	386	403	442	543	473

受注残		
2016年		2017年
1Q	4Q	1Q
405	489	→ 489
41	43	38
43	34	40
40	58	↑ 80
83	90	83
613	715	↑ 732

日時: 2017年5月24日(水) 15時00分～15時30分

場所: パシフィコ横浜 弊社ブース内

概要: 弊社事業責任者による、製品、市場状況、戦略の説明

申込: 事前申込制とさせていただきます。

参加ご希望の方は、メールにてご連絡ください。

堀場製作所 経営管理部 IR広報・企画チーム 上杉 宛

eita.uesugi@horiba.com

**人とくるまのテクノロジー展2017横浜
ウェブサイトにて事前登録をお薦めします→**



皆様のご参加をお待ちしております！（定員15名）

(ご参考)設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位:億円)

2017年通期予想は当初予定を据え置き

	2015年 通期実績	2016年 通期実績	2017年	
			通期予想	1Q実績
有形固定資産	148	134	146	29
無形固定資産	14	3	4	1
設備投資合計	163	137	150	30
減価償却費	61	68	72	17
研究開発費	123	129	140	31
(対売上高比)	7.2%	7.6%	7.7%	6.9%

Thank you

Omoshiro-okashiku
Joy and Fun

감사합니다

Cảm ơn

ありがとうございました

Dziękuję

धन्यवाद

Grazie

Merci

谢谢

புன்ற

ขอบคุณครับ

Obrigado

Σας ευχαριστούμε

شُكْرًا

Tack ska ni ha

Большое спасибо

Danke

Gracias

おもしろい
おかし

眞峰

